

ウチのシュウくん♪

シュウくんは
ダウン症というハンディがありますが、
いつも笑顔いっぱいです♡



作：シュウくんの母

厚生常任委員会管内視察 大分こども病院視察 3月25日

私は今、厚生常任委員として活動しております。初めての視察は、大分こども病院に行かせて頂きました。

5月28日現在、集団接種を行っているのは、新たに開設の帆秋病院体育館、九州電力（株）、そして大分こども病院です。

ワクチン接種を受ける時の細かい注意点など、ドクターより丁寧なご説明を頂きました。

1日も早く安心できる毎日が過ごせるように私たちも全力で注視してまいります。



新型コロナウイルスの 抗原検査が受けられます

4月29日から6月30日までの間、JR大分駅北口（府内中央広場）にて
県外から大分市内にお越しの方、飲食店にお勤めの方、市内の商店や飲食店
を利用した方を対象とした、新型コロナウイルスの抗原検査を行っています。

（無料、期間延長も検討中）

県外から大分市内にお越しの皆様へ
……安心して大分市で過ごせるように……

**新型コロナウイルス
抗原検査** 予約不要! 無料
を受けられます

令和3年4月29日(木)から6月末まで

【検査対象者】 県外から大分市内にお越しの方
※出張などで、県外に出掛けていた方も対象です。
※風邪症状や新型コロナウイルス感染症を疑う症状のある方は対象外です。

【開設時間】 毎日午前9時～午後10時
※最終受付：午後9時30分

【実施場所】 大分市抗原検査センター
JR大分駅北口（府内中央広場）
※裏面参照

【検査方法】 鼻粘膜ぬぐい液 自己採取
【検査料金】 無料 【検査結果】 短時間で判定

※検査結果が陽性の場合は、保健所の指示に従ってください
※結果が陰性であっても感染を完全に否定できるものではありません。
引続き十分な感染対策をお願いします。

お問い合わせ先 大分市保健所 保健総務課 ☎097-536-2222

新型コロナウイルス感染症
関連の情報は、下記ホーム
ページをご確認ください。

<https://www.city.oita.oita.jp/kenko/kansensyo/corona/index.html>

右QRコードより
アクセスできます!



Iwakawa Yoshie
いわかわ よしえ
岩川 義枝

無所属

福祉・教育の充実に頑張ります!



市議会たより

No.001
2021年5月号

TOPICS

- ・3月22日 令和3年第1回定例会 一般質問
- ・4月2日 世界自閉症啓発デー
- ・3月25日 厚生常任委員会管内視察 大分こども病院
- ・4月29日～6月30日まで（期間延長も検討中）

県外から大分市へお越しの皆様、飲食店関係の皆様、市内の商店や飲食店を利用した皆様へ
新型コロナウイルス抗原検査を希望者のみ実施中（無料）



一般質問のようす
動画でご覧ください

※動画は右QRコードからアクセス!



令和3年 第1回定例会 初の!! 一般質問です!!

3月22日、大分市令和3年第1回定例会にて、
当選後初の一般質問を行いました。
動画を観ていただくとわかるのですが、最初は
声はかなり緊張しています。
6月議会では、もう少し、落ち着いてできるよう
に、がんばります!

【質問内容】

- 1 発達障がい児の早期発見について
- 2 児童相談所早期開所について
- 3 不登校の未然防止について

発行者 大分市議会議員
いわかわ よしえ
岩川 義枝

携帯 090-2508-1857

ぜひ、みなさまの声を聴かせて下さい

大分市役所
〒870-8504

大分市荷揚町2番31号

TEL 097-534-6111

<https://www.city.oita.oita.jp/shigikai/index.html>

市議会情報配信中!

大分市議会 HP



たくさんのご声援ありがとうございました～

3月22日 令和3年 第1回定例会 一般質問

1年生議員の岩川義枝でございます。

2月の選挙では、大分市民の皆様からたくさんのお力添えを頂きましたこと、心から感謝を致しております。

多くの方々に助けられた人生だからこそ、今度は私が人様のお役に立ちたい！その思いが 私が市議をめざしたきっかけでした。

2月21日の初当選から、バタバタの中迎えた翌月の3月議会での一般質問の内容を簡単ですが、ご紹介させていただきます。

なお、市からの詳しい答弁に関しては、大分市のホームページからアクセスしてご確認頂ければ幸いです。

大分市議会ホームページ

<http://www.city.oita.oita.jp/shigikai/index.html>



大分市議会 HP

① 発達障がい早期発見に向けた1歳6ヶ月健診での市の取り組みについて

近年よく耳にするようになりました発達障がいですが、発達障がいは幼児期の親の育て方は悪いのではなく、生まれつきの脳神経の異常からくる脳機能障がいを原因とする障がいで、通常低年齢でわかります。それぞれの子どもが持つ生まれ持った特性と、周りの環境とのミスマッチが生じて生活に支障がでている状態ですが、早期発見をすることにより二次障がいを、すべてではありませんが減らすことはできます。

二次障がいが多いものが、「うつ病」「適応障がい」「不安障がい」「強迫性障がい」「依存症」「心身症」「引きこもり」などがあります。発達障がいのお子さんの中には、二次障がいにより長期不登校になっているお子さんもおられます。このように二次障がいを起こさないためにも早期発見ができるのが望ましいです。

しかし、親が障がいを認めにくいケースなどの問題もあります。市では、早期に発達障がいに気づくタイミングのひとつとして乳幼児健診があります。1歳半健診でより早く障がいをみつけ、早期発見、早期療育ができることを願い質問を致しました。

本件に関し、「大分市では現在、健診の場では保育士の活用がなく保育園や認定こども園の保育士のみなさんとしっかり連携を取っている」との答弁でした。

今後、私自身の考えとしては、健診で多くのお子さんと直接関わり、たくさんのお経験をお持ちの保育士のみなさんのお力をおかりしたいのと、大分県の取り組みである「保育コーディネーター」のみなさんを活用すればさらに発見が早くなるのでは…とっております。引き続き活動をしていきます。

② 市の児童相談所の設置について

深刻な児童虐待が増加しています。

こうした児童虐待に対する児童相談所は、県と政令指定都市に設置が義務づけられており、大分市のような中核市は政令で個別に指定を受ければ設置できることとなっております。

しかしながら中核市で児童相談所を設置しているのは、横須賀市と金沢市、明石市の三市に留まっています。長い期間大分市でも設置に向けた取り組みがなされてきました。

今後、中身の伴う児童相談所が早期に設置できるのか…そんな思いでの質問でした。

特に、重要な課題は『人材確保・人材育成』であること。児童相談所は主として、虐待の重症度が高い子どもや困難を抱えた保護者への対応や療育手帳に関する対応を行うことから職員には高度な専門性が求められると…

本件に関しては、「令和3年度中の計画策定に向け、引き続き包括的な議論を進め県との連携を図りながら、子どもの安全が守られる体制に見通しがつくまで丁寧に手順を踏んで準備を進めていく」との答弁でした。

いろんなことが 手遅れにならないよう引き続き関わっていきたいと思います。



③ 不登校児童生徒を生み出さないための取組について

不登校やひきこもりは、毎年増え続けています。大分市内の小学校・中学校の不登校のお子様は、

・平成29年 小学生204人 中学生530人 合わせて734人

・平成30年 小学生253人 中学生626人 合わせて879人

令和元年の調査ですと、

・大分市内小学生308人 中学生656人 合わせて964人

とわれています。



大分市の不登校の数は多いと言われていますが、文部科学省では学校基本調査において『理由別長期欠席者』という項目があり、さらにその項目を『病気』『経済的理由』『不登校』『その他』の4種類に分けています。大分市内の先生方は、その他にせず少しでも不登校の疑いのある児童・生徒の対して不登校に○をされたのではないかと思います、いずれにしろ早い段階での支援が必要です。

子どもの成長には、多様な他者とのコミュニケーションや自宅外での様々な体験が必要だと考えられます… 大分市としては、増え続けている不登校児童や生徒に対してどのような取り組みをしているのか… フリースクールとの連携はどのようなになっているのかについて質問させて頂きました。

本質問に対しては、「フリースクールとの連携については、不登校の児童生徒の状況や能力に応じて、それぞれの可能性を伸ばし、主体的に社会的自立に向かうよう、教育委員会及び学校と民間団体等が連携し、相互に協力、補完し合うことは重要であると考えております。本市教育委員会といたしましては、市内にあるフリースクールのうち8施設及び他市の2施設を訪問し、運営方針や活動内容をはじめ、当該施設における活動状況等を把握し、連携の在り方等について、全小中学校及び義務教育学校に指導しているところでございます。また、通所している児童生徒が在籍する学校におきましても、管理職や担任がフリースクールを訪問し、通所日数や活動の状況を把握することにより、当該児童生徒の状況に応じた支援に生かしているところであります。今後とも教育委員会、学校、家庭、フリースクール等の関係機関が連携し、児童生徒の社会的自立を目指し、一人一人の実情に応じた支援の充実に努めてまいりたいと考えております」との答弁を頂きました。

現在フリースクールは、経営者側も利用者側も行政からの支援はありません。今後、不登校を生まないことも重要ではありますが、子どもたち全員が自由に学校を選択できるよう、親の会の皆さんと深く連携をとり、視察を重ねながら取り組んでいきたいと思ひます。

議会での質問のルールもあり戸惑うことも多かったのですが、傍聴した支持者から『よかったよ、わかりやすかったよ』と声を掛けられ勇気づけられました。市民の皆様のぶれない声や思いを市政に届けることが私の使命だとしっかりと心に刻みより一層市民の皆様に寄り添い現状把握しなければと思っております。

そのためには、私自身がさらに学びを深めていくことも大切だと思ひ時間を調整しつつ、市役所執行部の方々にマンツーマンでご指導頂いております。

『いわかわ よしえを選んでよかった！』市民の皆様にそう言っていただけますよう、全力で走ってまいります。

ご意見 ご要望 応援の程 よろしくお願い申し上げます

世界自閉症啓発デー

この Light It Up Blue という事業は、国連が定めた「世界自閉症啓発デー（4月2日）」や国際デー制定に伴い我が国で実施されている「発達障がい啓発週間（4月2日～8日）」に、ランドマーク等を「癒し」と「希望」を表す「Blue ブルー」にライトアップし、自閉症をはじめとする発達障がいの啓発のために世界172か国で行われ、日本でも全国各地で行われている取り組みです。大分市でも大分いこいの道広場とJ:COM ホルトホール大分に於いて、今年も4月2日に点灯式が行われ、8日まで様々なイベントが行われました。



障がいがある人もないひとも笑顔で暮らせる世の中でありたいように…